

「屠畜場見学会」後のアンケート（16年11月4日）結果

（一社）アニマルウェルフェア畜産協会

1. 今日の見学会に参加して良かったですか？

○良かったです。以前に一度、第一工場か第二工場に来たことがありましたが、大きく変化して驚きました。

○良かった・とても良かった。（10人）

○参加させていただき、大変有意義に時間を過ごさせてもらいました。

○屠畜場を見られて良かったです。また様々なと畜に関してのお話を聞いて、より一層食に関しての有難みを感じました。

○とても勉強になりました。来てよかったですと思います。（2人）

○どのような工程を経て肉がさばかれるのかを見ることができてとても良かった。

○貴重な機会を頂けて感謝いたします。

○ライブモニターで細部まで知ることができた。（反面、工場内に入れたいには？前回見せていただいたのとあわせて good。初回の方は物足りないでは。）

○以前はガラスの向こうの解体作業を自分の目で見ました。今回モニターで見ているハイテクだから、と畜場っぽくないなと感じました。

○実際の様子を見ることができて良かったと思う。残念でしたが、もうちょっと生で見られるところがあったらと思いました。

○良かったです。ありがとうございました。けい留所を実際に間近で見られたことは、非常に貴重な機会の良い経験となりました。と畜前の牛のいる場所の雰囲気を感じることができて良かったです。

○普段は見ることのできない屠畜前の牛や設備を見ることができて良かったと思う。

2. 一番印象に残ったことは何ですか？

○電気ムチはあまり使わない、待機場に水飲み場があることなど牛を思った屠畜場だったことが一番印象的でした。衛生的にもともしっかりしているみたいで、大変だけど工夫しているんだなと感じました。

○センター内がきれいであることが印象に残っています。獣医師のチェックが3回入ること、肝臓廃棄が半数あることに驚きました。生産している側なので、ヨロイの処理は申し訳ないなあと反省しました。

○一連の作業が洗練されていて無駄がなかった。

○新しい工場が素晴らしい工場でびっくりしました。

○ライブモニターによる分かりやすい説明。

○繋留場の中の牛たちが落ち着いていて、中も寒くなかったこと。

○やはり、銃殺方法とその後の皮はぎまでの処理方法です。生きたものが、食べる“肉”になるまでの過程。

○第一工場は見たことがあったのですが、それに比べて非常にキレイで驚きました。

○繋留場の見学。

○枝肉、内臓(赤と白)がレーンでしっかり分かれていて衛生的だと思いました。

○当たり前なのかもしれませんが、徹底された衛生管理に驚きました。何を持って安全なのかというのを間違えると、安全かどうか分からない(世界的で見れば使われていない)薬を使ってしまったりするのだろうなと思いました。

○スタッフの人数が思っていたよりも少なかったこと。それだけ効率も考え、ムダなく作業ができていますね。施設がとても清潔だと感じた(血が垂れたりしているのかとも思っていたので)。

○部位ごとにレーンを分ける等、衛生管理を徹底されていること。と畜前の牛に対しても優しく接していると感じた(ヨロイは痛がるから、うるかしてから取るとか)。どうしても動かない牛に対して電気ムチを使用するのはやむを得ないと思う。

○生産設備としてのレベルの高さ(投資の大きさ)

○と殺後まだ動いている牛が多かった。銃は気絶のみで電気ショックや放血がとどめという印象を強く感じた。

○全体が無駄のない流れ作業になっているところ。工場内がキレイ。

○と殺方法とその後の衛生処理。

○施設が近代的かつ衛生的なところ。

○きれいな施設で衛生管理をしっかりしているところ。

○モニターでの見学でしたが、施設内の清潔な管理の中での肉処理には驚きました。

○繋留場の証明が十分だったこと。十分かどうかを客観的、科学的にいうことはできませんが、印象としてはよい状態に見えました。

○牛体の汚れをこびりついたものまでキレイにしてから屠畜をはじめ清潔に保っていること。

3. 今日の感想をご自由にお書きください

○いつも生きた牛を見ているのですが、畜産酪農現場では牛が殺されるまでであるため、と畜場を見学するというのは本当に貴重で、大事な体験だと思います。と畜場という現場は、より感じにくい場所であるため、この会でも回を重ねると畜について考えていけたらと思います。

○獣医にチェックが3回も入ること、肝臓廃棄が半数ほどあること、ヨロイの処理など、生産者の人達が、このような施設でお話を聞くことができる機会が必要だと感じました。

○衛生面での徹底がすばらしく、牧場でも参考にしたい。

○自分の農場の牛をここに出しているのを知っている部分もありましたが、普段聞けなかったこと、知り得なかったことが聞けたり、見ることでできたので大変良かったです。改めて食肉を扱うのは大変だなあと思うとともに、それでも昔の（又はアメリカでは自分で）と畜し、さばき、食する文化も考えずにはられない想いはある。食文化はどこへ行くのか。

○屠畜場のイメージがまるで変わりました。

○屠畜場の方々が私たちのために毎日衛生的に作業してくれるから安心してお肉を食べられていることがライブカメラを見てよく分かりました。とてもありがたいなあと感じました。屠畜場の中がとても衛生的で床に何も落ちていないことにも驚きました。

○実際に銃殺から肉処理、パッキングなどと畜の一連を、説明をまじえて見ることができ衝撃を受けるとともに、私たちは日々生きたものを頂き生かされているんだ、という実感を覚えました。今後スーパーなどで見るパッケージされた肉に対して感謝をして、そしてアリガトウという気持ちを忘れず、また“（命を）いただきます”をしっかり感じていきたいと思いました。

○実際の現場を生で見られなかったのは残念ですが、貴重な体験ができました。ありがとうございました。

○モニターでの映像でしたが屠畜処理の様子を見ることができて良かったです。

○色々な立場の方が参加していたために視点が違い、多くの意見が出たことが良かったと思います。

○世の中の“食”というものの（ほとんどがブラックボックスになっているので、消費者・生産者・加工者がお互いに交流し「見えるもの（交流）」にすることで、安全な食も、健全な農業も守られるのだと思いました。今回は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

○無駄なく効率的な作業がなされていることに感心しました。（スピードも速い）施設も思った以上に清潔です。管理が行き届いているのだと思いました。アニマルウェルフェアに対する具体的な配慮などをもう少し伺ってみたいかった。なかなかこういう機会はないので、勉強になりました。

○食肉を扱う所なので当然なのかもしれませんが、徹底した衛生管理がされていて驚いた。ヨロイの除去が重労働だと聞いて、そこは牧場でやろうと思えばできることなので、自分が働いている牧場ではできる限りキレイにして送り出してあげることが、と畜場の方の負担軽減にもなると感じたので、これからはやっぴいこうと思った。屠畜場と牧場は同じ牛を扱う現場なので、もっとお互い情報交換する場等があればいいのでは・・・と思った。

○国内外での競争力を高める必要性と難しさを強く感じた。

○家でテレビドラマを見るようになっていた。生命の終わり、食肉の始まりが遠く感じられないよう、より身近になって広まってほしいと思います。

○とても大変なお仕事だと思いました。

○現場をモニターだけで見るのは少々不満が残った。一定の人たち（肉関係・研究者たち）については直接見られるようにしてほしい。

○従業員の方々の職人技に感動しました。

○屠畜場のイメージが以前よりも「明るい」ものとなりました。以前は施設（特に繋留所）は薄暗いというイメージでしたが、決してそうではなく明るく清潔に環境が管理されていることが分かりました。きれいな牛舎、清潔な搾乳方法で搾られた牛乳を「これなら飲みたい」と思う気持ちと似ているものがあると感じました。家畜の乳肉が生まれるまでのプロセス全てをと畜場も含めて見たうえで、食の安全・安心を考えたいと感じました。

○屠畜場は一度、第二工場を見学したことがあり、暗く、重労働のマイナスイメージを持っていた。今回の見学ではモニター越しであったためか、生々しさがなく明るく清潔であると思った。また生産者や学生など様々な視点からの質問があり、気づかなかったことに目がいった。

4. (一社) アニマルウェルフェア畜産協会への要望や企画してほしいセミナーや見学会はどのようなものでしょうか？

○良い悪いの視点はもちろんですが、農家の人たちの状況、現状（そうせざるを得ない現状）なども見ていただけたらいいかなあと少し感じました。

○海外のオーガニックの屠畜場、日本におけるオーガニック？オーガニック的なと畜場やシステムについての勉強会。

○牛以外のブタ、ニワトリ等の畜舎見学（一般的な畜舎とアニマルウェルフェアの畜舎）

○東北でも勉強会を企画してほしいです。また様々な専門家を集めたシンポジウムのようなことも企画してほしいです。

○生産現場の生の声を聞く機会があれば、今後の進め方のヒント等を得られるのではないかと思います。

○一般の消費者に向けてPRを頑張してほしいです。

○佐竹さんの牧場へ行きたいです。

○ブタ・ニワトリも見学してみたいです。

○消費者との交流的なもの。

○メガファームの見学（AWに関心の高い経営者のところ）

○牛以外の屠畜。搾乳・飼養管理の見学。